

標 題 : Increased Functional Foods' Consumption and Mediterranean Diet Adherence May Have a Protective Effect in the Appearance of Gastrointestinal Diseases: A Case-Control Study.
増加した機能的食品の摂取および地中海食の順守は消化器疾患の出現に対する予防作用の可能性が示唆される : 症例-対照研究

著 者 : I. N. Elmaliklis, et al. (ギリシャ Aegean (エーゲ海) 大学 食品・栄養学部)

掲 載 誌 : Medicines (Basel). 2019 Apr 9; 6(2). pii: E50

要 旨 :

背 景 : 疫学研究は、栄養因子と消化器疾患との間の正の相関を示唆した。

方 法 : 機能的食品の摂取および地中海食の順守が、潰瘍性結腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、および胃食道逆流症に対して良い影響があるかを調べるために、症例-対照研究を計画した。

全体で、142 人の患者(症例)および 147 人の性別を合わせた健康な人々(対照)が研究に参加した。

機能的食品の摂取を NHANES 研究に基づいた食品頻度アンケートを用いて検査した、さらに地中海食の採用を PREDIMED 研究に基づいた 14 項目の地中海食評価方法によって評価した。

統計的な解析を SPSS-22 で実施した。

結 果 : 過去 2-3 年の間に患者と比較して対照は、機能的食品の一部の種類 (プロバイオティクス、プロバイオティクス強化食品、および低脂肪食品) およびある種 (マウンテンブルーベリー、ベリー類、ザクロ、オート麦、マスティック、ウコン、大豆、および干しぶドウ) を頻繁に摂取した ($p < 0.05$) 。

健康な人々は、患者よりも地中海食の順守が高かった ($p < 0.05$) 。

地中海食の増加したスコアおよび機能的食品の一部の種類およびある種の増加した摂取は、消化器系疾患の出現に対して予防因子であると、多因子解析が示した。

結 論 : 特定の食品成分と消化器疾患の病態生理学との間の関連の可能性をさらに調べるために、より多くの研究を実施すべきである。

キーワード : 地中海食、症例-対照研究、機能的食品、消化器疾患
